

4月から、軟質プラスチックなどの収集を始めます ごみの分別方法が変わります

町では、今年度から、試行的に布類と廃食油（使用済み天ぷら油）の収集を行っています。

4月からは、RPF（※1）を、現在収集している布類に、軟質プラスチックを加えて分別収集します。

また、使用済み食用油（BDF※2）の回収も、引き続き行います。
皆さんのご協力をお願いします。

※1：RPFとは、工場の燃料として再利用するごみのこと。

※2：BDFは、廃食油を精製してバイオディーゼル燃料として再利用するものです。

どちらも環境保全や資源の有効活用を促進する取り組みのひとつです。

RPFの出し方（4月から）

町指定「共通袋」のごみ区分の「RPF」に○印をして（現在の共通袋には区分が印刷されていないので氏名だけを記入）、衣類・ふとん・軟質プラスチックと発砲スチロールを別々の袋に入れて、月に1回の収集日（3月上旬に配布予定の「平成21年度ごみ収集カレンダー」を参照）に出してください。

4月から軟質プラスチックと発砲スチロールが同じ袋で出せます。

廃食油の出し方（4月から）

使用済み天ぷら油を、各自治会の回収容器設置場所で収集します。

平成21年度は、2か月に1回の収集を予定しています。

収集日などは、「平成21年度ごみ収集カレンダー」を参考にしてください。



写真①

写真①のように、卵のパック・豆腐の容器や発砲スチロール以外の食品のトレーやふた、インスタント食品の袋、ペットボトルの外装ラベルや包装フィルム、レトルト食品の袋、ヨーグルトの容器、菓子・パンの袋、スーパーの買い物袋などが「軟らかいプラスチック類」です。

軟質プラスチックとは、基本的に「軟らかいプラスチック類」で、下のマークで表示されているものです。



軟質プラスチックってどんなもの
写真で分けるラクラク分別術



写真③

写真③は、梱包材料です。これも「軟らかいプラスチック類」で、収集の対象となります。

これも軟質プラスチックです



写真②

写真②は、冷凍食品やコーヒー、インスタントスープの袋、カップめんなどのふた、弁当容器など「軟らかいプラスチック類」の表面に、細かいアルミの粉を貼り付けたもので、写真①と同じ軟質プラスチックと考えてください。

※アルミホイルや鍋焼きうどんなどのアルミ容器は、金属ですから「不燃ごみ」です。

ご注意ください！

食品トレーなどは、汚れをきれいに洗って出してください。
汚れが落ちない物はこれまでどおり「可燃ごみ」で出してください。

《これだけは混ぜないで！》

写真④は、混ぜてはいけないものです。
ビニールホースやビニール手袋、肥料袋やビニール雨具などのビニール製品と、洗濯・掃除洗剤容器などは、塩素を含んでいるためダイオキシンの発生が心配されます。
きれいに洗ったつもりでも汚れが残りやすいマヨネーズ・ケチャップ・ドレッシング・歯磨き粉・シャンプー・リンスなどの容器や、金属を含む薬剤シートも対象外です。
また、DVDやCDは不燃ごみです。



写真④（混ぜてはいけないもの）

硬いふたや、硬質プラスチック素材、シャンプーなどのポンプ（金属のばねが入っているもの）は「不燃ごみ」として出し、肥料袋は購入した店へ引取りを依頼し、そのほかのものはこれまでどおり「可燃ごみ」として出してください。

また、在宅医療で捨てられる栄養剤バッグやチューブ類は、軟らかいプラスチックであっても「可燃ごみ」として出してください。注射器・注射針は絶対入れないでください。注射器などは、病院や調剤薬局などで回収します。

問合せ 役場産業振興課（72 - 2101）